

災害医療専門家との意見交換、政府としてのこれまでの取組を踏まえ、現状のCBRNEテロ対策の課題を以下のとおり整理

専門家の知見の活用

- 政府の対応に万全を期すため、専門的知見を活用する枠組みを検討することが必要（事案発生時の専門家との連携枠組み等）

現場の初動対応

- 原因不明の多数傷病者への対処、原因物質の迅速な特定等、CBRNEテロの特性を踏まえた初動対応能力の強化が必要（救助・救急活動と警察活動の連携等を促進する司令塔機能、装備資器材の充実等）

医療機関の対応

- 研修を通じた対応可能医療機関の拡充、CBRNEテロ対策のための医療機関の資器材の確保等に係る政府としての検討が必要

危機対応医薬品等の確保と配送

- 医療機関等における安全な活動や被害者の治療に必要な危機対応医薬品等（例：拮抗薬と投与器材）の国内製造・供給体制を含む確保を推進するとともに、その備蓄・配送方法に関する検討を加速化することが必要

制度整備

- 事案発生時に、国が速やかに責任をもって対処体制を確立できるよう制度的な検討が必要（2次被害の許容に係る医療機関や自治体の負担軽減等）

その他

- CBRNEテロに用いられる可能性のある技術・研究開発動向を把握するために各関係機関の知見を集約・共有することが必要（テロに使用される可能性のある物質、剤の散布に使用される可能性ある器材等）